

東日本大震災の復興事業も途上にある中、16年8月に本県を直撃した台風10号災害からの一日も早い復旧へ、新たな社会的な使命を担うこととなった本県建設産業界。17年はさらなる飛躍の一年となるか、それとも打つ手も増して激動の一年となるか。本紙は公共事業や建設産業界と関連した参議院議員の足立敏之氏に、公共事業と建設産業を取り巻く課題や今後の展望について聞いた。

足立氏は、毎年大規模な災害が発生している社会情勢も鑑み、災害時に建設産業界が危機管理産業としての確かな対応を図ることが可能であるため、一定規模の公共事業投資を恒定的に確保し、利益を計上することで必要経費を削減。前年比増減を「2桁年維持している公共事業費の確保と、補正予算を含めさらなる増額に努めていきたい」と意気込みを語っている。

建設産業にもおける担い手の確保には、労働環境の改善だけでなく、若者が夢や志を持つことができるプロジェクトの必要性を強調。公共投資を削減し続けた結果、日本のインフラの整備水準が先進諸国と比較して著された状況になっていることについて、「一流の経済大国の地位を取り戻すためには、インフラ投資のやり直しが必要であり、その担い手である建設産業の発展が不可欠」と呼び掛けている。



建設産業 再生と飛躍の一年へ

参議院議員 足立敏之氏に聞く

日刊
岩手建設工業新聞

発行所

日刊岩手建設工業新聞社

〒019-6233 岩手県盛岡市東山町3丁目19番33号

電話 019(623)8201

ファクス 019(622)5119

019(623)8204

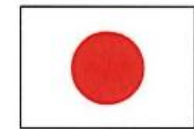
振替口座 02320-3-3405

定額月(1ヵ月) 7,508円

http://www.nikkaniwate.co.jp

http://www.nikkaniwate.co.jp

がんばろう
岩手



(元 日)

新年特集号

新春特別インタビュー

